

卷 末 資 料

<ユースメンタルサポート Color パンフレット>

(医師向け)

対象者

- 三鷹・調布・その他近隣の市区にお住まいの方
- 年齢は10代～20代の方
- 統合失調症を中心とした精神病的疾患の方
- 原則的に発症から5年以内の方

費用

相談、その他の支援については、原則的に無料です。

申込方法

まずは、直接お電話下さい。
 その際、ご本人・ご家族からご連絡を頂く方法と、主治医の先生からご連絡を頂く方法とがあります。

お医者様へ

ユースメンタルサポート



T E L : 042-426-8088
 携 帯 : 090-3814-4520
 受付時間 : 平日9時～17時
 住 所 : 東京都調布市郊野台1-19-5-102



社会福祉法人 巣立ち会

ユースメンタルサポート



精神病的疾患の早期発見・早期支援

どのような病気であれ、早期発見・早期治療が望ましいことは、あらためて述べるまでもない常識であると言えますが、近年、統合失調症をはじめとする精神病的疾患についても、早期発見、早期支援が必要であると言われています。

DUP(精神病未治療期間)とDIPT(手厚い心理社会的支援開始の遅れ)

幻聴や妄想など明らかな精神病的症状が出現してから、実際に専門治療につながるまでには、多かれ少なかれタイムラグがあるとされています。このタイムラグはDUP(Duration of Untreated Psychosis: 精神病未治療期間)と呼ばれ、これが長いほど治療への反応やその後の経過が悪くなりがちであること、逆に早めに適切な治療を開始できると良い経過を期待できる可能性が高くなることが、世界の各所で報告されています。

さらに、最近では、精神病的疾患発症後、できる限り早い時期から薬物療法とともに、手厚い心理社会的支援を提供することによって、よりよい経過が得られることが報告されています。発症してから手厚い心理社会的支援が開始されるまでの期間は、DIPT(Delay in intensive psychosocial treatment: 手厚い心理社会的支援開始の遅れ)と呼ばれ、これが長いと、その後の入院の頻度が高まったり、陰性症状が増悪したりすることが報告されています(de Haan L et al., Schizophr Bull. 2003)。DUPとDIPTを短くすることによって、精神病からの回復がよりスムーズになる可能性が高まります。

早期発見・早期支援の取り組み

私たちユースメンタルサポートColorでは、精神病によるダメージを最小限にし、若者の地域における回復を促すために、精神科医療機関の先生方と連携し、DUPとDIPTの短縮、すなわち、精神病に苦しむ若者の早期発見・早期支援に取り組みます。

具体的には

1. DUP短縮にむけた取り組み

DUPを短くするためには、地域において精神病的疾患に関する啓蒙を推進することが不可欠となります。私たちユースメンタルサポートColorでは、学校や医療・保健機関、地域と連携して、早期発見のための啓蒙活動に積極的に取り組みます。

2. DIPT短縮にむけた取り組み

手厚い心理社会的支援を発病後できる限り早い段階で提供するため、地域の精神科医療機関の先生方と協力し、以下のサービスを提供します。

- 早い時期からの就学・就労支援
- アウトリーチによる相談・支援
- 家族相談・支援(本人未受診の家族を含む)
- 行政・福祉サービス事業所・その他の関連機関との連絡調整
- 心理社会教育・認知行動療法
- 治療中断防止支援

精神科医の皆様へのお願い

ユースメンタルサポートColorは、発症から問もない患者さん達に、左記のような包括的サービスを行っていきたく考えています。診療場だけでは、なかなか時間の制約があり、ゆっくり話を聞けない、ご家族の思いまでは手が届かない、生活上の就学・就労支援まではとても出来ない、そういったことで医療の限界をお感じのことが多いかと存じます。ユースメンタルサポートColorは、ご本人・ご家族のもとへ足を運び、その情報やアプローチを先生と共有し、ご本人たちの予後を少しでも改善したいと望んでおります。若年の方が受診された時は、是非ユースメンタルサポートColorの支援をご一考くださるよう、お願い申し上げます。



*DUP(Duration of Untreated Psychosis: 精神病未治療期間)
 精神病の初日発生時点から専門治療(抗精神病薬の初回投与)が開始されるまでの期間のこと。世界各々の報告によると平均して12か月程度のDUPがあるとされています。
 **DIPT(Delay in Intensive Psychosocial Treatment: 手厚い心理社会的支援の遅れ)
 精神病の初日発生後、手厚い心理社会的支援が開始されるまでの遅れを意味します。DIPTが抗精神病薬初回投与時点と意味するのに対し、DIPTは心理社会的支援の開始時点を示します。DIPTが長いと、再入院や陰性症状が増悪するリスクが高まると言われています。

(ご本人向け)

対象者

- 三鷹・調布・その他近隣の区市にお住まいの方
- 年齢は10代～20代の方
- こころの不調で困り事がある方

費用

相談、その他の支援については、原則的に無料です。

申込方法

まずは、お電話下さい。
ご本人・ご家族からのお電話、お医者さんからのお電話、どちらでも構いません。

ご本人様へ

ユースメンタルサポート

カラー
Color

T E L : 042-426-8099
携 帯 : 030-3814-4520
受付時間 : 平日9時～17時
住 所 : 東京都調布市調布台1-19-6-102



社会福祉法人巣立ち会

ユースメンタルサポート

カラー
Color

ひとりで悩まずユースメンタルサポートColorにご相談ください 自分らしさを取り戻すお手伝いをいたします

出来るだけ早く 相談することが大切です

10代～20代は、こころの不調を体験しやすい時期です。こころの不調があると、学校・職場・家庭などでも色々な問題が出てきます。

こころの不調は、本人や周りの家族・友だちが気づいて早く相談すれば、早くもとの自分に戻ることができます。

こんなことで困っていたら

- ★ 学校に行けない。
- ★ 進路で悩んでいる。
- ★ 勉強が頭に入らない。
- ★ 友達とうまくいかない。
- ★ 家族とうまくいかない。
- ★ 仕事が長続きしない。
- ★ 仕事を探したい。
- ★ 考えがまとまらない。
- ★ 将来のことで悩んでいる。

まずは、お話を聞かせて下さい。

ご希望に応じて、ご自宅・学校・職場・病院・その他・近くの喫茶店など落ち着ける場所、どこにでも伺います。

こんなお手伝いができます

- ☆ 勉強のお手伝いをします。
- ☆ 進路について一緒に考えます。
- ☆ 友達やご家族、職場の人などとの問題にも相談に乗ります。
- ☆ 仕事探しのお手伝いをします。
- ☆ 病気・薬について気になることがあれば相談にのります。

(ご家族向け)

対象者

- 三鷹・調布・その他近隣の市区にお住まいの方
- 年齢は10代～20代の方
- 統合失調症を中心とした精神病的疾患の方
- 原則的に発症から5年以内の方

費用

相談、その他の支援については、原則的に無料です。

申込方法

まずは、直接お電話下さい。
その際、ご本人・ご家族からご連絡頂く方法と、
主治医の先生からご連絡頂く方法とがあります。

ご家族の方へ

ユースメンタルサポート



T E L : 042-426-8099
 傳 呼 : 030-3314-4520
 受付時間：平日9時～17時
 住 所：東京都調布市菊野台1-18-5-102



社会福祉法人築立ち会

ユースメンタルサポート



精神病的疾患の早期発見・早期支援

どのような病気であれ、早期発見・早期治療が望ましいことは、あらためて述べるまでもない常識であると言えますが、近年、統合失調症をはじめとする精神病的疾患についても、早期発見、早期支援が重要であると言われています。

DUP (精神病未治療期間) と DIPT (手厚い心理社会的支援開始の遅れ)

幻聴や妄想など明らかな精神病的症状が出現してから、実際に専門治療につながるまでには、多かれ少なかれタイムラグがあると言われています。このタイムラグはDUP (Duration of Untreated Psychosis: 精神病未治療期間) と呼ばれ、これが長いほど治療への反応やその後の経過が悪くなりがちであること、逆に早めに適切な治療を開始できると良い経過を期待できる可能性が高くなること、世界の各所で報告されています。

さらに、最近では、精神病的疾患発症後、できる限り早い時期から薬物療法とともに、手厚い心理社会的支援を提供することによって、よりよい経過が得られることが報告されています。発症してから手厚い心理社会的支援が開始されるまでの期間は、DIPT (Delay in intensive psychosocial treatment: 手厚い心理社会的支援開始の遅れ) と呼ばれ、これが長いと、その後の入院の頻度が高まったり、陰性症状が増悪したりすることが報告されています (de Haan L. et al., Schizophr Bull. 2003)。DUPとDIPTを短くすることによって、精神病からの回復がよりスムーズになる可能性が高まります。

早期発見・早期支援の取り組み

私たちユースメンタルサポートColorでは、精神病によるダメージを最小限にし、若者の地域における回復を促すために、精神科医療機関の先生方と連携し、DUPとDIPTの短縮、すなわち、精神病に苦しむ若者の早期発見・早期支援に取り組みます。

具体的には

1. DUP短縮にむけた取り組み

DUPを短くするためには、地域において精神病的疾患に関する啓発を推進することが不可欠となります。私たちユースメンタルサポートColorでは、学校や医療・保健機関、地域と連携して、早期発見のための啓発活動に積極的に取り組みます。

2. DIPT短縮にむけた取り組み

手厚い心理社会的支援を発病後できる限り早い段階で提供するため、地域の精神科医療機関の先生方と協力し、以下のサービスを提供します。

〈ユースメンタルサポートColor サービス内容〉

- ご本人がお困りのことについて、精神保健専門スタッフが、継続的に相談にのります。
- ご要望に応じて、ご自宅・学校・職場・病院・その他、どこにでも伺います。
- ご家族の支援も行います。
- 就労・就学・復職・復学支援など、ご本人・ご家族のご要望に沿った支援を考え、進めていきます。
- 必要に応じて、認知行動療法を行います。(考え方のくせを知り、考え方・行動を変容して、生活上の問題の改善・解決を図る心理療法)
- 心理社会教育を行います。(病名・治療方法についての学習、ソーシャルスキルの学習) 治療中断を防ぐ為に、支援を行います。
- 必要に応じて、行政・福祉サービス事業所・その他関係機関との連絡調整を行います。
- あらゆる事情について、一緒に解決策を考えていきます。

ご家族の皆様へ

身近な方に精神疾患が見られた時、さぞかし戸惑われたと思います。統合失調症を中心とする精神疾患は、早期に適切な支援を行うことで、十分に回復するとされています。ユースメンタルサポートColorが、ご本人・ご家族に満足して頂けるような早期支援を提供致します。身近な方に精神疾患が見られた時には、ご家族だけで悩まずに、是非ユースメンタルサポートカラーColorにご相談下さい。



*DUP (Duration of Untreated Psychosis: 精神病未治療期間)
 精神病的初発発症時点から専門治療 (抗精神病薬の初回投与) が開始されるまでの期間のこと。世界各所の報告によると平均して12か月程度のDUPがあるとされています。
 **DIPT (Delay in Intensive Psychosocial Treatment: 手厚い心理社会的支援の遅れ)
 精神病的初発発症後、手厚い心理社会的支援が開始されるまでの遅れを意味します。DUPが比較的短縮されたにもかかわらず、DIPTが比較的長い場合、回復の遅延が懸念されます。DIPTが長いと、再入院や慢性化リスクが高まるとされています。

(表)

(裏)

Color ユースメンタルサポート

TEL:042-426-8099
携帯:090-3814-4520
受付時間 / 平日(月～金)午前9:00～午後5:00
URL: <http://sudachikai.eco.to/color/>
〒182-0007
東京都調布市瑞野台1-19-5-102

Access Map 交通の案内

甲州街道 東武東上線 瑞野台駅 京王線 瑞野台駅

社会福祉法人 順立 ち 会

Color ユースメンタルサポート

精神病状態の症状とは？

妄想
事実に反していやがらせをされている「監視されている」などと遭遇する被害妄想のほか、「テレビや新聞が自分のことを言っている」、「自分の考えがみんなに知られている」などと感じられます。

幻覚
存在しない人の声や顔が聞こえる幻聴が多く、その内容は自分の悪口を言ったり、自分に命を脅かしたりするものです。

まとまらない会話や行動
話的を射なったり脱線したりして理解しづらくなります。目的のはっきりしない行動が増え、突然離席することもあります。

前駆症状
精神病状態が生じる前に次のような症状がみられることがあります。これらはうつ状態など他の場合にもみられ、注意して経過を見ることがあります。

- 集中力や注意力が低下し、気が散りやすくなります。
- 人に悪く思われているのではないかと感じやすくなります。
- 突然とした心配や怖い感じがします。
- 理由のはっきりしない不安や行動が増える、人付き合いがひきこもる、昼夜逆転の生活になるなどの変化がみられます。

青年期の若者は最も精神疾患にかかりやすい

- 青年期は人の一生の中で、このころの不調を最も調整しやすい時期といわれています。このころの病気(以下、精神疾患)は、この時期に高頻度で発生し、若者の生活を脅かす重大な健康問題となっています。しかし、多くの若者が精神疾患を発病しながらも、適切な支援や治療につながらずに問題を抱え続けていくことが少なくありません。

若者への早期支援・早期治療の重要性

- 他の身体疾患と同様に、青年期の若者がかかればやすい統合失調症をはじめとする精神疾患についても、早期発見・早期治療が重要であるといわれています。専門の支援・治療が遅れてしまつと、病気がこじれて本人や家族の不安、苦しみが増え、障害も重篤になってしまいがちです。逆に、病気が早期に発見され、早期に専門の支援・治療を受けられれば、早期に回復する可能性が高まります。精神疾患も、かかればじめの対応が肝心です。そのため、精神疾患発病後の未支援・未治療の期間をできるだけ短縮し、初期の継続的で包括的な専門治療を提供することが、若者の回復を促すうえで不可欠となります。

若者の精神疾患からの回復を支援する「ユースメンタルサポートColor」が目指すもの

- そのためには、精神疾患に苦しむ若者が、早期から安心して支援・治療を受けられる環境を構築することが必要となります。「ユースメンタルサポート Color」は、精神的苦悶に悩む若者やそのご家族を、早期から積極的に支援することを目的とした、専門相談窓口です。未治療・未支援の期間を短縮し、病初期に積極的な支援・治療を提供することによって、若者が自らの生活・人生の目標に向かって病状から回復していくことを目指します。

対象

- 10代から20代までの精神状態(精神病的状態)が疑われる方。
- 三鷹・調布・柏江・府中・武蔵野・世田谷・その他近隣の市区にお住まいの方。
- 原則的に発症から5年以内の方。

ご連絡先

まずは、直接お電話を下さい。その際、ご本人・ご家族からご連絡を頂く方法と、主治医の先生からご連絡を頂く方法とがあります。

☎ 042-426-8099

電話相談受付時間 / 平日(月～金) 午前9:00～午後5:00

支援内容

手厚い心理社会的支援を発病後できる限り早い段階で提供するため、地域の精神科医療機関の先生方と協力し、以下の支援を提供します。

- 早い時期からの就学・就労支援。
- アウトリーチによる相談・支援。
- 家族相談・支援(本人未受診の家族を含む)。
- 精神科の治療が必要な時は、専門外来への紹介とスムーズな治療導入の連絡調整。
- 行政・福祉サービス事業所・その他の関連機関との連絡調整。
- 心理社会教育・認知行動療法。
- 治療中断防止支援。